

北海道身体障害者新聞

発行人 一般社団法人 北海道身体障害者福祉協会
会長 赤坂 勝
札幌市中央区北二条西7丁目(かて2-7)
電話 011-251-1551
FAX 011-251-0858
ホームページ www.hokuisinkyo.or.jp
北海道障害者社会参加推進センター
電話 011-251-9302
毎月 25日発行
会員購読料(年) 90円 (会費を含む)
非会員 同 2,000円

平成二十四年度盲ろう者通訳・介助員現任研修の開催

「盲ろう者通訳・介助員の基本的技術の復習と確認を目指し」

平成二十四年度盲ろう者通訳・介助員現任研修が平成二十五年二月十九日(火)二十日(水)、二日間で札幌市の道民活動センタービルで開催されました。参加者は全道各地、遠くは函館市、白糠町から二十五名の方が参加されました。今回から札幌盲ろう者福祉協会の全面協力を頂き富樫真弓会長を始めとして八名の方々に講師として講義・実技を実施した充実した中身の濃い二日間でした。

概要は次の通りです。

初日は十時三十分から開講式が行われ、主催者挨拶として一般社団法人北海道身体障害者福祉協会 泉 司常務理事から参加者に札幌市や遠方からの多数の参加に謝辞と日頃の通訳・介助のお礼を述べ、又札幌盲ろう者福祉協会の皆様へ講師の御礼を述べました。

その後、札幌市視覚障害者福祉協会訓練職員 小宮康生氏の「白杖について」の役割についてをテーマに講義があり非常に中身の濃い有益な内容でした。

午後からは「盲ろう者(ロービ)」



白杖を使い実技

開講挨拶の泉 司 常務理事

ジョンの移動介助の基本姿勢と実技」をテーマに沖村 圭子事務局長をメイン講師として実施しました。その後、「階段の上り下りの基本技術」の講義・実技ではアイマスクを着用し盲状態で白杖を使い、階段の段差注意及び手すりの使い方等、介助活動の実技を体験しました。

二日目

十時から「手書き文字の基本知識と実技」をテーマに講師の富樫 真弓会長から当事者の立場から通訳・介助員に求められるのは介助ではなく介助であることなど活動における注意点と手の平書きの実技は視野狭窄メガネと疑似体験セットを着用し、養成講座ではなかった有意義な実技で参加者は苦勞しておりました。

その後、疑似体験セット、視野狭窄メガネを使用し各々通訳・介助員、盲ろう者役を交互に体験しケース一、ではレストラン場面でのメニューから食事を注文する実技でした。

ケース二、では役場面での印鑑証明書、転出入届、住民表の実際を置き順番整理番



役所での書類作成実技

号を受付でもらい夫々必要な書類に記入し、窓口提出の実技でした。最後はグループに分かれ講義・実技について討議を致しました。皆さん非常に真剣に活発な質疑・応答風景でした。

閉講式では北身協 泉 司常務理事から閉講挨拶の後、札幌盲ろう者福祉協会 富樫 真弓会長の講師代表挨拶があり、無事二日間の研修会を終わりました。

ここで研修会に参加してのアンケートを一部抜粋してご紹介いたします。

「どの講義も丁寧に理解しやすかった。忘れていた事、曖昧に覚えていた事を、曖昧に覚えていた事を修正、学ぶことが出来、いかなる時も盲ろう者主体的に考え、研修で学んだ事を今後の活動に活かすよう意識していきたい盲ろう者一人一人に合った通訳技術を高めていきたい。とても有意義な二日間でした。」

「全道各地の様子を知ることが出来て有意義でした。講師からのアドバイスを頂く時間がありがたかった。階段の場面は整理が思い、生活に必要な役所での場面がとても参考になりました。講師の方々が通介者をして下さる方が出来て良かった。講師の皆様方々が通介者をして下さる方が出来て良かった。講師の皆様方々が通介者をして下さる方が出来て良かった。講師の皆様方々が通介者をして下さる方が出来て良かった。」

「協力をして」町内会の回覧協力による日身連収益事業は、あなたの協会に還付されております。

創立六十周年記念全道身体障害者福祉大会第一回推進委員会の開催

「目標について平成二十五年二月十九日(火)札幌の道民活動センタービルに於いて十三時三十分から開催されました。」

- 一、創立六十周年記念全道福祉大会の会長表彰について
- ※自立更生表彰(案)・援護功労表彰(案)について
- ※大会役員について
- ※役割分担について
- 二、平成二十六年度開催全道福祉大会の開催について
- ※開催地
- 函館市(函館市身体障害者福祉団体連合会)
- ※開催日
- 平成二十六年七月二十日(日)
- 二、会長表彰受賞者の選考について
- ※自立更生者
- 推薦者十三団体、二十名(前年度受賞者二十七名)
- ※援護功労者
- 推薦者十四団体、三十七名(前年度受賞者、三十名)
- ※特別功労者
- 推薦者〇
- (前年度受賞者、〇)

以上各協議について審議され、無事予定通り修了致しました。

「伝わる要約筆記を目指して」平成二十四年二月十七日(日)十八日(月)の二日間、苫小牧市民活動センターに於いて「伝わる要約筆記を目指し」を主題として「通訳として必要な現場で文字による情報を確実に伝える」を副題に要約筆記通訳ボランティアの会「はまなす」の山靖子さん、岡部富美枝さんを講師として講義・実技の研修会が実施され、苫小牧の要約筆記サークル「つたえーる」から、七名が参加致しました。

一日目 開講挨拶を一般社団法人北海道身体障害者福祉協会 泉 司常務理事が行いました。続いて、講義・実技として「要約筆記の位置付、通訳としての要約筆記」をテーマに午前の部を終了。

午後からは「現場対応が出来るノートテイク」をテーマに実技・講義をもつて初日を終了致しました。



大会推進委員の皆様

要約筆記現任研修



要約筆記現任研修

社団法人日本義肢協会会員

株式会社 札幌義肢製作所
代表取締役 関 喬
札幌市中央区南三条西六丁目
電話代表(〇一一)二四一〇九八六番

札幌義肢製作所旭川支店
支店長 舛田裕司
旭川市五条通十二丁目
電話(〇一六六)二四一五三三番

有限会社 野坂義肢製作所
札幌市中央区南三条東四丁目
電話(〇一一)二二二一四〇六番

有限会社 河笠義肢製作所
小樽市長橋四丁目七番二十九号
電話(〇一三四)二二一三〇四二番
(〇一三四)三三三三〇〇二番

株式会社 馬場義肢製作所
函館市豊川町一五〇一七 〇一三八三二二六二五番
札幌市北二条七条二丁目 〇一七七四一三〇三三番
室蘭市母恋北町一三〇六 〇一四三三三三三三三番
釧路市富士見一五の九 〇一五四四一三五四六番

株式会社 田村義肢製作所
札幌市中央区北四条東五丁目
電話(〇一一)二〇二二七七七番
帯広支店 帯広市大通南十五丁目二十番地
電話(〇一五五)二七二四八九番

有限会社 三愛義肢製作所
代表取締役 柏崎力ネ
岩見沢市志文町九二三番地二六
電話(〇一二二)三二二六六四三番

株式会社 協和義肢製作所
岩見沢市三条西八丁目
電話(〇一二二)二二二二二七三九番
FAX(〇一二二)二二二二二七六一八番

有限会社 美唄義肢製作所
代表取締役 松田清勝
美唄市東七条北四丁目七番九号
電話(〇一二六)六二一〇九三三番

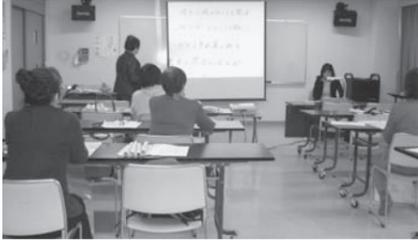
有限会社 千葉義肢製作所
釧路市若草町七番二一
電話(〇一五四)二二一〇三三八番
FAX(〇一五四)二二一〇三三八番

二日目 「要約筆記における表記の重要性」をテーマに講義・実技を実施しました。

午後からは「話し言葉の特徴を活用する」をテーマに講義・実技を実施。その後北身協、泉司常務理事から「北身協の事業取組について」をテーマに講義の後、質疑・情報交換があり二日間の研修会を終了致しました。次に今回の技術研修・研究会議を終えて参加者の感想を抜粋して紹介いたします。

「今迄で一番リラックスし、楽しく分かりやすかったです。北身協とも初めてお話しが出来、道の事情、市町村との係わり等、仕組みも分かり大変有意義でした。最近では自分の限界を感じておりましたので、今回の研修会で力をいただきました。今後このような、研修会（勉強会）を開催して欲しいです。」

「ノートテイク」の講義を久しぶりに受けて改めて勉強させて頂きました。ていねいなご指導有難うございました。いつも聴覚障害者の方の為、耳代わりとして、役に立ちたいと思っております。今後も定期的に研修の場を設けて頂き勉強させて頂きたいと思っております。



実技風景

平成二十四年度障害者社会参加推進協議会総会の開催

「標題の総会が平成二十四年二月二十六日（火）十三時三十分から札幌の道民活動センタービルで開催され各議題の審議が行われました。当日は十七名の委員の内十一名が出席し、会長が生憎、突然

の事故で欠席となり会長挨拶は、代理で北海道身体障害者福祉協会 泉司常務理事が挨拶されました。

冒頭、配布書類の説明と出席委員の確認の後、議長選任では事務局から道障害者スポーツ振興協会事務局長 羽田慎哉氏の推薦があり了承されました。以後議長の進行により議題の審議が行われました。

議題一、「平成二十四年度障害者社会参加推進事業状況について」

※出席各団体から実施状況の説明が順次なされ特別質問も無く終了。

議題二、「平成二十五年度北海道の障害者社会参加関連事業の概要」

※北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課 花岡祐志氏から説明がありました。

議題三、「障害者の雇用状況について」

※北海道労働局職業安定部職業対策課地方障害者雇用担当官 石原利秀氏より様々な細かい説明があり特に質問もなく終了しました。



社会参加推進協議会総会

※困りごと、悩みごとは「障がい者一〇番」へ

「札幌市を除く全道各地にお住まいの障がい者及びその家族の方」

電話 〇一一二五二一一三三三
FAX 〇一一二五二一一三三五

網走に高校開設決定

日本体育大学は、先にご案内した知的障害のある生徒を対象にした「日体大北海道高等学校」（仮称）の二〇一五年度開講を正式に決定。障害者向けスポーツ教育に取り組み全国初の高校となる校舎は網走市大曲の旧道立網走高等技術専門学院を使用する。

網走市は同学院の校舎、体育館を有償で道から取得し、日体大に無償譲渡すると思われる。

市企画調整課は「地域に根ざした学校になってほしい。網走に新しい歴史の幕開けとなる。」としている。

同高校は知的障害者を対象とした体育科に特化した男子校。職業訓練とスポーツを取り入れたカリキュラムを編成。募集は一学年四十名で全国から受け入れ原則全寮制となる。

日体大と網走市は、今年四月に「設立準備室」を設け、開校準備を進める意向。日体大は二月二十二日の理事会で、仮の校名「日体大北海道高等学校」を「日体大北海道高等学校」に変更した。

文芸

短歌

室蘭市 渡部 忠雄
大晦日越して門松神頼み
定番おせち丈夫を祝う

山は富士高嶺の夢や松の内
鷹の勇姿に京茄子のはな
亀は池鶴は稲田で舞い踊る
鷹は敏捷勇姿雄々しく
(太字が姓名となっております)

室蘭市 池内満里子
冬椿散る影ひとつ音も無く
命果かなく匂友旅立つ
春までと願う心はかなわずに
恩師の訃報に長きながき夜
義理チョコと知りつつ夫は顔を
シワクチャにするバレンタインデー

釧路町 大道恵美子
幾山河越えきし早やも喜寿すぎぬ
生きてる証しの短歌よみゆかな
送りくる全国共通の商品券
くしろはデパート一店もなく
路線バス一本に減る住宅地
乗り継ぎ歩く寒風の中
厳寒に凍結注意聞く夕べ
骨折あとの古傷いたむ

俳句

室蘭市 池内満里子
蝉氷渡る命の儚さよ
燃ゆ命なぜ散らんとす寒椿
送り日の風花に散る涙かな

滝川市 菅原 信子
身をかがめ滑らぬように初霜や
窓の外冬枯れ景色空知川
十勝岳大パノラマの雪の花

岩見沢 池田 敏雄
菱餅に母の色あり想いあり
打たせ湯や春のリズムを肩で聞く

文芸に投稿される方へ
編集部からお願い
一 投稿は、新聞発行月の前月末までに願います。
二 作品には、短歌、俳句、川柳の区分を記入願います。
三 一般読者が読みにくい漢字には、必ずルビを付すようお願い致します。



第58回 日本身体障害者福祉大会 北海道・札幌大会
北海道身体障害者福祉協会創立60周年記念全道福祉大会
『北の大地から絆でつなぐ被災地復興の加速と支援体制の充実を全国の仲間と共生社会に発信』
日時:平成25年5月27日(月)~28日(火) (2013年)
会場:北海道立総合体育センター (北海きたえーる) 札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1

主催: 社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会
一般社団法人 北海道身体障害者福祉協会
社団法人 札幌市身体障害者福祉協会
後援: 内閣府・厚生労働省・北海道・札幌市・社会福祉法人全国社会福祉協議会・社会福祉法人北海道社会福祉協議会・社会福祉法人札幌市社会福祉協議会・社会福祉法人北海道共同募金会・公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟・日本赤十字社北海道支部・他地元関係団体(予定)



大会事務局: 一般社団法人 北海道身体障害者福祉協会
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル4階 TEL011-251-1551 FAX011-251-0858

有限会社 岩見沢義肢
札幌市中央区北二条西七丁目八番地八
電話代表 〇一一二六二二二一五五〇番

クリーニングは光生舎
光生舎 クリーナーズ
光生舎 ワークショップ
光生舎 エルムクリーニング
光生舎 ライトスラザ
光生舎 メディック・エル
光生舎 グリーンセブン
光生舎 スラザインサッポロ
光生舎 虹の里
光生舎 虹の里 デイサービスセンター
光生舎 フールビラ
ケアハウス すいこう
救護施設 親愛の家
○施設の利用を希望される方はお気軽にご相談下さい。
連絡先 (社福)北海道光生舎
電話 0125-32-3221
担当 厚生部

HOP ホップ障害者地域生活支援センター
札幌市東区北二十条東一丁目五十一大西ビル一階
TEL 〇一一二七四八二二〇
FAX 〇一一二七四八二二二

NISSIN ニッシン自動車工業
身体障害者用・自動車運転装置/販売・取付
印刷・クリーニング・縫製のご用命は
社会福祉法人 北海道リハビリ
障害者支援施設 リハビリ・エイト
障害福祉サービス事業 リハビリ・クリーナーズ
障害福祉サービス事業 リハビリ・おおぞら
障害者支援施設 札幌ワークセンター
障害福祉サービス事業 セルプさっぽろ
グループホーム・ケアホーム エルフィンホーム
施設利用ご希望の方はお気軽にご相談ください
法人本部 北広島市西の里507番地1
TEL (011)375-2111(代)

安心と実績で全道をネットする 認定補聴器専門店-
岩崎電子 補聴器センター
本店 札幌市中央区南2条西3丁目 東南カド
札幌駅前店 札幌市中央区北3条西2丁目 札幌H・S・ビル1F
新札幌店 札幌市厚別区厚別中央1条6丁目 ホクノービル3F
手稲店 札幌市手稲区前田1条12丁目
旭川店 旭川市宮下通9丁目 キタノビル1F
函館店 函館市杉並町8-20 オカダビル
苫小牧店 苫小牧市表町5丁目5-1
室蘭店 室蘭市中央町3丁目25-1 TMビル
0120-231-282
岩崎電子株式会社
札幌市中央区南2条西3丁目 東南カド